

新 年 の こ と ば

明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、ごあいさつ申し上げます。

議会は、市長とともに、本市を支える二元代表制の一翼を担っており、執行機関に対する監視機能を果たしつつ、社会の変化に応じて多様化する市民ニーズを的確にとらえ、市政に反映することを大きな使命としております。

本市議会では、市民に開かれた身近な議会を目指し、議会改革調査特別委員会を中心に協議を重ねているところであり、昨年は、公開性向上の観点から議場等に発言残時間表示計を設置したほか、議会基本条例について参考人制度を活用した調査を実施いたしました。

今後とも、私ども議会の果たすべき役割や機能をしっかりと認識し、本市の発展とよりよい市民生活の実現に寄与してまいりたいと考えております。

さて、昨年を振り返りますと、全国的に記録的な大雨が多く発生した年でありましたが、特に、7月に福岡・大分を中心とする九州北部で発生した豪雨災害では、多くの方々が犠牲になりました。改めて亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、ご遺族と被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。本市としても、被災地の一日も早い復興に向けて、必要な支援に継続して取り組んでまいります。

本市におきましては、子どもから大人まで科学を楽しく体験できる福岡市科学館が、昨年10月1日に開館いたしました。

また、天神ビッグバン第1号となる民間ビルの建て替え計画が本格始動したことをはじめ、旧大名小学校跡地活用の事業者公募が開始されるなど、都市活力の向上に向けた動きが加速すると同時に、人生100年時代を見据え、産学官民オール福岡で推進するプロジェクト「福岡100」がスタートし、持続可能な社会の実現に向けた取り組みも着実に進められております。

さらに、福岡ソフトバンクホークスが2年ぶりに日本一に返り咲くなど、私たち市民に夢と感動を与えてくれる大変喜ばしいニュースもありました。

我が国の景気は緩やかな回復基調が続き、本市の市税収入も4年連続で過去最高を更新している状況にはありますが、本市の財政は依然として楽観できる状況にはありません。

こうした中、市民の皆様にとって、安全・安心で住みやすく、活力と魅力があふれる福岡を築いていくため、議員一同、今後とも一層の努力をしてまいりたいと決意を新たにいたしております。

市民の皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

平成30年元旦

福岡市議会議長 川上 晋平
福岡市議会副議長 石田 正明